

知っとこ！神美

知っておいてほしい神美を紹介します。

【県指定 考古資料 森尾古墳出土品】



⑤森尾古墳出土の「正始元年」銘鏡



▼方格規矩四神鏡(森尾古墳)

森尾古墳の石室から出土した青銅製の鏡の内の1面(平成15年3月に県指定重要文化財に指定)。約2000年前に中国で作られたとされています。現在、森尾地区の平尾源太夫さん宅に保管されています。

豊岡市森尾

3世紀後半～4世紀前半

●県指定文化財

出土品(考古資料)

3世紀後半から4世紀前半の古墳で、1917年(大正6)に発見された。発掘された青銅鏡は「三角縁神獣鏡(さんかくぶちしんじゅうきょう)」で(卑弥呼の鏡と言われる)、一面には中国の年号である「正始(せいし)元年」(240年)で始まる文字が刻まれている。

同じ銘の入った「三角縁神獣鏡」が群馬県と山口県でも出土している。

また、2002年(平成14)には、大正期に見つかった鏡のひとつが、1世紀に中国でつくられた、北近畿で最古級の「方格(ほうかく)規矩四(きくし)神鏡(しんきょう)」であることがわかった。

但馬最古の古墳で豊富な銅鏡等107点の出土品が平成15年3月25日に“考古資料”として兵庫県指定の文化財として登録されています。中でも「三角縁神獣鏡」は北近畿最古の卑弥呼の鏡かともいわれ、また「方格規矩四神鏡」は中国から伝来の鏡。昭和52年11月1日に“史跡”の部で豊岡市より文化財の指定を受ける。(森尾古墳跡 1基)

(引用 但馬事典)

神美カルタ

